

萩小学校の複式編制の回避に向けた取り組みに関する検討結果

萩小学校では、令和10年度に3、4年生が、令和12年度には5、6年生が複式学級となる見込みであり、近い将来1、2年生以外は複式学級の全体で4クラスの小学校となる見込みです。

そこで、令和4年10月に萩小学校区の保護者や町内会等の代表者による「萩小学校複式編制回避検討委員会」を組織し、学校の今後の在り方について、検討委員会を7回、住民説明会を2回、萩小学校入学予定者の保護者の意見を聴く会を4回開催するなど、検討してまいりました。

検討委員会では、「地区の人口増加を期待して小学校の存続」と「学校統合による複式編制の回避」のどちらが望ましいかを慎重に検討しましたが、最後まで委員間の意見が大きく分かれる結果となり、現時点ではどちらかの結論を選択するには至りませんでした。

ついでには、豊川市教育委員会において、これまでの検討委員会における協議内容、地域住民に対するアンケート調査結果及び保護者の意見を聴く会で寄せられた地域の声をしっかり受け止めていただき、将来の萩小学校のより良い方向性を地域住民に示すよう要望します。

○付帯意見（豊川市教育委員会への要望等）について

萩小学校を存続する場合

- ・人口増加の施策として萩住宅跡地の民間住宅開発を至急進めてください。
- ・空き家住宅の周知・活用の発信をしてください。
- ・萩小学校の教育活動の周知や、萩地区の魅力発信を積極的に行ってください。
- ・小規模特認校制度の導入を検討してください。
- ・愛知県の複式学級基準を適用するのではなく、豊川市独自の基準を設けるなどして複式編制を回避してください。

学校統合の場合

- ・小学校や保育園等の保護者及び地区住民に対する説明会を開催してください。
- ・統合にあたっては、萩町民の意図を汲んで、赤坂小学校の校名を音羽小学校に校名変更をしてください。
- ・将来的に音羽地区での小中一貫校の設置を検討してください。
- ・児童の環境が大きく変化することから、統合先とのスムーズな関係づくりができるように、早い時期から交流の時間を十分取るように計画してください。
- ・統合先に萩小学校の教員が配属されるよう、強く要望します。
- ・スクールバスの運行を行ってください。
- ・学校統合の結論を出すにあたっても、複式編制を回避するための4つの施策（学校統合・通学区域の見直し・学校選択制の導入・関連する取組としての小中一貫教育）を十分検討した後にしてください。

豊川市教育委員会

教育長 高 本 訓 久 殿

令和6年3月13日

豊川市立萩小学校複式編制回避検討委員会

委員長 大 林 充 始

副委員長 仲 神 哲 也